

【一】 どうする に あたる ことばを
から えらんで かきましよう。

(1) さかなが およぐ

(2) くるまが はしる

(3) あめが ふる

(4) ゆうひが しずむ

(5) かみなりが なる

(6) ふうせんが われる



なる ふる われる はしる
およぐ しずむ

【二】 どんなだ に あたる ことばを
から えらんで かきましよう。

(1) うめぼしは すっぱい

(2) どうふは しろい

(3) なつは あつい

(4) ありは ちいさい

(5) さくらが きれいだ

(6) けいさんは かんたんだ

あつい かんたんだ すっぱい
ちいさい しろい きれいだ

【三】 なんだ に あたる ことばを
から えらんで かきましよう。

(1) みかんは くだものだ

(2) えんぴつは ぶんぼうぐだ

(3) ぼらは はなです

(4) ここは にほんです

(5) たかしは おとうとだ

(6) あしたは えんそくです

ぶんぼうぐだ にほんです おとうとだ
はなです えんそくです くだものだ

【四】 には (か) に あたる ことばを
から えらんで かきましよう。

(1) ひまわりが さく。

(2) でんわが なる。

(3) おばけは こわい。

(4) うみは しずかだ。

(5) すずめは とりです。

(6) あしたは 日ようびです。

おばけは すずめは でんわが
うみは あしたは ひまわりが



【一】 「どうする」にあたることばを
からえらんでかきましょう。

(1) ひこうきが とぶ(はしる)。

(2) うまが はしる。

(3) ゆきが ふる。

(4) ほしが かがやく(ふく)。

(5) ちやわんが われる。

(6) めだかが およぐ。



【二】 「どんなだ」にあたることばを
からえらんでかきましょう。

(1) わきびは くらい。

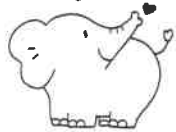
(2) りんごは あかい。

(3) ふゆは さむい。

(4) ぞうは おおきい。

(5) ぼらが きれいだ。

(6) しゆくだいは たいへんだ。



おおきい くらい たいへんだ
さむい きれいだ あかい

【三】 「なんだ」にあたることばを
からえらんでかきましょう。

(1) だいこんは やさいだ。

(2) コアラは どうぶつです。

(3) バッタは むしです。

(4) まぐろは さかなだ。

(5) ここは きょうとだ。

(6) あしたは やすみです。

【四】 「なには(が)」にあたることばを
からえらんでかきましょう。

(1) くるまが (いもうとは) はしる。

(2) かねが なる。

(3) いもうとは (たんぽぽは) かわいい。

(4) クイズは かんたんだ。

(5) たんぽぽは はなです。

(6) あさっては 月ようびです。



クイズは あさっては くるまが
かねが たんぽぽは いもうとは

※ 様子を表す副詞は、ひらがなで書きます。

(4) むねが
くらくら
がんがん
どきどき
がんとん
しています。

(3) かぜが
ひらひら
のそのそ
そよそよ
ふいている。

(2) あめが
さらさら
さらさら
ばらばら
ふわふわ
ふってきた。

(1) いしが
くるくる
さらさら
ころころ
ころがる。

「ころがりますか？」
「どんなふう？」

【二】 うれしいものを○でかこみましよう。

(4) (○) みじかい (○) くるい (○) あぶない (○) きれいな (○) きゆうな

「どんな」
「ねこが たまです。」
「ねこですか？」

(3) (○) おそい (○) しかくい (○) となりの (○) たらうの (○) いろんな

「どの」
「たれの」
「おばさんは やさしい。」
「おばさんですか？」

(2) (○) ひろい (○) すずしい (○) すみれの (○) しずかな (○) きれいな

「どんな」
「なにの」
「はなが さいている。」
「花ですか？」

(1) (○) しろい (○) はやい (○) うれしい (○) おおきな (○) べんりな

「どんな」
「犬ですか？」
「いぬが ほえている。」

【一】 あうことばを二つえらんで (一)に○をつけましよう。

(6) かねが
カンカン
ゴーン
なっている。

(5) うしが
のそのそ
あるく。

(4) けむりが
もくもく
でています。

(3) 山の
いなかな
くうきは
きれいだ。

(2) きれいな
つめたい
水が
ながれている。

(1) 白い
大きい
きれいな
どりが
とんでる。

「どんな」
「どりが とんでるか？」

【四】 □にことばをいれて、くわしいぶんにしましよう。

(5) たいこを
ドンドン
ガンガン
ボンボン
たたいた。

(4) あめが
ゴーゴー
ガーガー
ザーザー
ふっている。

(3) かみなりが
ゴロゴロ
コロコロ
ゾロゾロ
なった。

(2) ねこが
ニャーニャー
ニャーニャー
となく。

(1) ひよこが
ピヨピヨ
ワンワン
カアカア
ないている。

「どんなふう？」

【三】 うれしいものを○でかこみましよう。

【一】 あうことばを二つえらんで
（一）に○をつけましょう。

- （一）ひろい
 - （二）あかい
 - （三）きれいな
 - （四）べんりな
- （一）みじかい
- （二）ゆりの

（三）のんきな

（四）おおきな



はながさいている。



おじいさんはこわい。



いぬがジヨンです。



【二】 ただしいものを○でかこみ
ましょう。

- （一）ボールが
 - （二）ゆきが
 - （三）けむりが
 - （四）あたまが
- （一）するする
- （二）どしどし
- （三）のそのそ
- （四）どきどき

（一）ころがる。

（二）ふつてきた。

（三）でている。

【三】 ただしいものを○でかこみ
ましょう。

- （一）からすが
 - （二）すすめが
 - （三）かみなりが
 - （四）水が
 - （五）かねを
- （一）カアカア
- （二）シュッシュュツ
- （三）ゴロゴロ
- （四）サブンサブン
- （五）チンチン

（一）クンクン

（二）なく。

（三）なつた。

（四）ながれる。

（五）ならした。

【四】

（一）かわい

（二）へんな

（三）わたしの

（四）いしが

（五）むねが

（六）ベルが

（一）ねこが

（二）むしが

（三）ははは

（四）ころがる。

（五）している。

（六）なっている。

木 むし
はは かいしゃ
水中 ほほさん

- (6) ちちは **むし** に さされた。
- (5) ぼくは **はは** に いてる。
- (4) わたしは **ほいくし** に なりたい。
- (3) さるは **木** に のぼった。
- (2) イルカは **水中** に もぐった。
- (1) ちちは **かいしゃ** に いきました。

【二】 「どこに」 「なにを」 にあたることばを からえらんで かきましよう。

そら につき
でんわ えもの
ふえ くき

- (6) あにが **でんわ** を かける。
- (5) ぼくが **ふえ** を ふく。
- (4) いもうとが **につき** を かく。
- (3) ちようが **そら** を とぶ。
- (2) とらが **えもの** を おいかける。
- (1) うしが **くさ** を たべる。

【二】 「どこに」 「なにを」 にあたることばを からえらんで かきましよう。

- (2) **ボール** を **なげる**。
- (1) **ちいさな** **こども** が、
水 を **のむ**。
かわいい **とり** が、

【四】 「どんな」 「なにが」 「なにを」 「どうする」 のぶんをつくりましよう。

【三】 「どんな」 「どのように」 「どこに」 「なにを」
大きなきれいな まっしろな
さらさら ぴよんと ちらちら

- (3) **きれいな** **水** が、
さらさら **なが** れている。

- (2) **大きな** **かえ** るが、
ぴよんと **と** びはねた。

- (1) **まっしろな** **ゆ** きが、
ちらちら **ふ** っつてきました。

【三】 「どんな」 と、 「どのように」 「どこに」 「なにを」
あたることばを、それぞれ 「どこに」 「なにを」 から えらんで かきましよう。

はち やま
い え ちち
いしや プール

- (6) ははが はち にきされた。
 (5) あには ちち にいてる。
 (4) ぼくは いしや になりたい。
 (3) さるは やま にすんでいる。
 (2) わたしが プール にとびこむ。
 (1) ぼくは いえ にかえた。

【二】 「から」 「えらんで」 「かきましよう」 にあたることばを

ピアノ ねずみ
ほね 手じな
そら ほん

- (6) あねが ピアノ をひく。
 (5) わたしが 手じな をする。
 (4) おとうとが ほん をよむ。
 (3) とりが そら をとぶ。
 (2) ねこが ねずみ をおいかける。
 (1) いぬが ほね をかじる。

【一】 「から」 「えらんで」 「かきましよう」 にあたることばを

- (2) そら を とんだ。
 あかい とりが、
 (1) 大きな ライオンが、
 にく を たべている。
(たんな)
(どうする)

【四】 「どんな」 「なにが」 「なにを」
 「どうする」 のぶんをつくりましよう。

【三】 「かわいい」 「あかい」 「大きな」
 「ここに」 「ふわふわ」 「ころころ」

- (3) 大きな おむすびが、
 ころころ ころがった。
 (2) かわいい こどもが、
 ここにこ わらっています。
 (1) あかい ふわふわ ふうせんが、
 どんでいます。
(大きな)

【三】 「どんな」 と、 「どのよう」 に
 あたることばを、 それぞれ 「から」
 えらんでかきましよう。

【一】 うまく つながって いる ほうの () に ○ を つけましょう。

① () あめが ふってきた。けれども、かきを さした。
 () あめが ふってきた。だから、かきを さした。
 原因(理由) あたりまえ 結果(ぶつです)

② () あたまが いたかった。
 () あたまが いたかった。だから、がっこうを やすまなかった。
 結果(頭がいたくても、学校を休まなかったのは、なぜだろう。他の原因・理由があるはずだ。)

③ () がんばって はしった。それで、ちこくしてしまった。
 () がんばって はしった。しかし、ちこくしてしまった。
 よい(と)悪い(な)は、よいかい(い)は、結果(まにあうつもりだった。)

④ () かきごおりを 三ばいも たべた。しかし、おなかを こわした。
 () かきごおりを 三ばいも たべた。それで、おなかを こわした。
 原因(理由) あたりまえ 結果(当然です)



★ 「けれども」「しかし」「だから」「それで」のような、文と文や、ことばとことばをつなぐ ことばを、 つなぎことば(せきご)と いいます。

【二】 つなぎことばを ○ で かこみましょう。

(1) がんばって べんきようした。しかし、テストの てんは わるかかった。
 結果(いいきをとるつもりだった。)

(2) きのは、よる おそくまで テレビを みていた。それで、ねぼうをした。
 結果(当然です。)

(3) タクシーを まっていた。けれども、タクシーは なかなか こななかった。
 結果(タクシーが来ると思っている。)

(4) 日が でてきた。だから、すこしずつ あたたかく なってきた。
 結果

(5) まどを あげた。すると、きゆうに つめたい かぜが はいってきた。
 原因(展開) 結果(冷たい風が入ってきたが、予想していなかった。)

(6) となりの いちごだいふくは おいしい。そのうえ、ねだんも やすい。
 結果(おいしいだけでなく、安いんだよ。)

(7) ふゆが すぎました。そして、あたたかい はるが やってきました。
 結果(春を待っていたイメージ。やっど春が来たよ。)

(8) ことしの なつは、うみへ いこうか、それとも、山へ いこうか。
 結果(どっちがいい?)

【一】 うまく つながっている ほうの () に ○ を つけましょう。

① () きのうは あめふりだった。 けれども、 えんそくは あった。
() きのうは あめふりだった。 だから、 えんそくは あった。

② () ねつが たかかった。 けれども、 がっこうを やすんだ。
() ねつが たかかった。 だから、 がっこうを やすんだ。

③ () ひっしで はしった。 それで、 でんしゃの じこくに まにあった。
() ひっしで はしった。 しかし、 でんしゃの じこくに まにあった。

④ () かいだんから おちた。 しかし、 どこも けがを しなかった。
() かいだんから おちた。 それで、 どこも けがを しなかった。



★ 「けれども」「しかし」「だから」「それで」の ような、文と文や、ことばとことばをつなぐことばを、つなぎことば(つなぎご) と いいます。

【二】 つなぎことばを ○ で かこみましょう。

(1) きのうは、よる おそくまで おきていた。 しかし、 ぜんぜん ねむくない。

(2) がんばって べんきょうした。 だから 百てんが とれた。

(3) ガラスを わってしまった。 それで、 おかあさんに しかられた。

(4) まい日、ピアノの れんしゅうを しています。 けれども うまく なりません。

(5) おにいちゃん は ちからが つよい。 そのうえ、 あたまも よい。

(6) ふたを あけた。 すると、 おもちゃの 人ぎょうが とびだした。

(7) コーヒーが いいですか、 それとも こうちやが いいですか。

(8) こうえんに つきました。 そして、 おべんとうを たべました。

【一】 うまくつながつている ほうの () に ○ を つけましょう。

① () きのは たのしかった。だから、きょうは たのしくない。
() ○ きのは たのしかった。 **けれども**、きょうは たのしくない。
(兼しくない原因は何か?)



② () いそいで じゅんびを した。しかし、わすれものを した。
() ○ いそいで じゅんびを した。 **だから**、わすれものを した。
(かさもメモを忘れたのはなぜだろう?)



③ () ○ **それは 大雨**でした。でも、かさも ささずに 出ていった。
(かさもメモを忘れたのはなぜだろう?)
() **それは 大雨**でした。それで、かさも ささずに 出ていった。

④ () ○ **みちで ころんだ**。 **そのうえ**、さいふを おどしてしまった。
(ころんだだけでなく、さいふを盗んだよ。)
() **みちで ころんだ**。しかし、さいふを おどしてしまった。

⑤ () **大ごえで さげんだ**。それとも、おまわりさんに しかられた。
() ○ **大ごえで さげんだ**。 **すると**、おまわりさんに しかられた。
(おまわりさんにしかられるとは思わなかったよ。)

⑥ () **アイスクリームが いいですか**。そのうえ、かきごおりが いいですか。
() ○ **アイスクリームが いいですか**。 **それとも**、かきごおりが いいですか。
(自分の意見がきたよ。)

⑦ () ○ **おもいきって 手を あげた**。 **そして**、じぶんの いけんを いった。
() **おもいきって 手を あげた**。すると、じぶんの いけんを いった。

【二】 □ に あてはまる つなぎことばを、うしろの □ から えらびましょう。

(1) 雨が ふっていた。 **けれども**、かさを もたずに でかけた。

(2) しゅくだいを わすれた。 **だから**、先生に しかられた。



(3) サイダーに ラムネを 入れた。 **すると**、きゆうに あわが 出てきた。

(4) おにいちゃんは、べんきようが よくできる。 **そのうえ**、スポーツも とくだ。

- すると
- けれども
- そのうえ
- だから

【一】 うまく つながって いる ほうの () に ○ を つけましょう。

① () なつはよくあせをかきます。だから、まい日おふるに入室しよう。
 () なつはよくあせをかきます。しかし、まい日おふるに入室しよう。

② () 雨が つよくなってきた。けれども、かぜも ふいてきた。
 () 雨が つよくなってきた。そのうえ、かぜも ふいてきた。

③ () ねぼうを しました。でも、ちこく しませんでした。
 () ねぼうを しました。それで、ちこく しませんでした。



④ () ぼくは こくごは とくいだ。けれども、さんすうは にがただ。
 () ぼくは こくごは とくいだ。だから、さんすうは にがただ。

⑤ () ミルクを のみますか。そのうえ、ジュースが いいですか。
 () ミルクを のみますか。それとも、ジュースが いいですか。

⑥ () ながい トネルを ぬけた。すると、そこは ゆきぐにだった。
 () ながい トネルを ぬけた。それとも、そこは ゆきぐにだった。



⑦ () はやく しゅくだいを すませた。すると、ゆつくり テレビを 見た。
 () はやく しゅくだいを すませた。そして、ゆつくり テレビを 見た。

【二】 □ に あてはまる つなぎことばを、うしろの □ から えらびましょう。

(1) 雨が ふっていた。だから、かきをもつて がっこうに いった。

(2) しゅくだいを わすれた。けれども、先生は しからなかつた。



(3) きょうは じゅくが あります。そのうえ、ピアノの れんしゅうも あります。

(4) とびらを たいた。すると、中から へんな おばあさんが でてきた。

- だから ・ けれども ・ すると ・ そのうえ

【一】 □ に あてはまる つなぎことばを、うしろの □ から えらびましょう。

(1) なんども よんでみた。 □ けれども、へんじは なかった。

よそうとちがう
↑ ↓
けれども

結果 (返事が無いのはなぜなんだ。こまったなあ。)

(2) あなたは なつが すきですか。 □ それとも、ふゆが すきですか。

どちらですか?
↑ ↓
それとも

(3) あわてて かえた。 □ だから、かさを わすれた。

あたりまえ
↓
だから

結果



顔を洗って

(4) かおを あらった。 □ それから、はを みがいた。

+
じゆんじよく (並列)
それから

(単に、村等なものを順に並べていって)
結果 (大きな虫がおちてくるなんて思っていなかったよ。)

(5) 木を ゆすった。 □ すると、大きな 虫が おちてきた。

あたりまえ
↓
すると



虫をみがいて

(6) きょうは しんどい。 □ なぜなら、ねつが たかいからです。

↑
りゆうをせつめい
なぜなら

原因 (前に述べた事からの理由)

それから ・ なぜなら ・ けれども ・ だから ・ それとも ・ すると

【二】 □ に あてはまる つなぎことばを、□ から あるだけ、さがしましょう。

(1) がんばって れんしゅうした。 □ しかし、しあいには、まけてしまった。

↑ ↓ (逆接)
しかし
けれども
でも

結果 (上に述べたことを受け、それと相反する
ことを述べる時に使う)

「でも」は話し言葉です。
多少のニュアンスの違いはありますが、
主張は全て、「試合に負けたです」。

(2) 雨が ふってきました。 □ だから、
かいたものに、いくのは、やめましょう。

↓ (順接)
だから
それで

(前に述べたことが、後から述べることの原因・理由に
なっています。)

普通話にのみ認められることがあります。

だから ・ しかし ・ けれども ・ それで ・ でも

【一】



にあてはまる つなぎことばを、うしろの から えらびましょう。

(1) ごはんを たべた。

それから

、おふろに 入った。

(2) あしたは いえに います。

なぜなら

、学校が 休みだからです。

(3) いそいで やった。

だから

、まちがいも おおかった。

(4) えんぴつで かくのですか。

それとも

、ペンで かくのですか。

(5) なんども ゆすってみた。

けれども

、びくとも うごかなかった。

(6) ハンカチを とった。

すると

、手の 中の コインが きえていた。



けれども

・ なぜなら

・ それとも

・ だから

・ すると

・ それから

【二】



にあてはまる つなぎことばを、



から あるだけ さがしましょう。

(1) いい 天気あまに なってきた。

しかし
けれども
でも

、かさを もって でかけた。

(2) いたずらを した。

だから
それで

、おかあさんに しかられた。



しかし ・ だから ・ けれども ・ それで ・ でも

【一】

うまくつながっているほうの () に ○ を つけましょう。

①

() ○ おてつだいを したのに、おかあさんに しかられた。 確定している ↓ 逆接
() おてつだいを したので、おかあさんに しかられた。

②

() ひっしで はしつたので、でんしゃに のりおくれて しまった。
() ひっしで はしつたのに、でんしゃに のりおくれて しまった。

③

() きのは、おなが が いたかつたのに、学校を やすみました。 確定している ↓ 順接
() きのは、おなが が いたかつたので、学校を やすみました。

④

() ○ テストで 百てんが とれたので、とても うれしかった。
() テストで 百てんが とれたのに、とても うれしかった。

【二】

に、 のに、 のに、 ので、 ので、 のどちらかを かきましよう。

①

まどを あけて ねた ので、かぜを ひいて しまった。

②

二かいから おちた のに、けが ひとつ しなかった。

③

さいふを わすれた ので、かいものが できなかった。

④

たいせつな かびんを わった のに、おじいちゃんは おこらなかつた。

⑤

かみなりが なつた ので、ぼくたちは あわてて いえに とびこんだ。

【三】

うまく つながる ように、 つづきで かきましよう。

(水い)

(1)

わたしは、けがを したのに、なかなかつた。
いもうとは、けがを したので、ないた。

(2)

でんわが なつたのに、だれもでない。
でんわが なつたので、ぼくがでた。

(1)	わたしは、けがを したのに、なかなかつた。 いもうとは、けがを したので、ないた。
(2)	でんわが なつたのに、だれもでない。 でんわが なつたので、ぼくがでた。

【一】 うまく つながって いる ほうの () に ○ を つけましょう。

① () ひっしで およいだので、まけてしまった。
(○) ひっしで およいだのに、まけてしまった。

② (○) きのは、あたまが いたかったのに、学校を やすまなかった。
() きのは、あたまが いたかったので、学校を やすまなかった。

③ (○) テストで れいてんを とったので、とても はずかしかった。
() テストで れいてんを とれたのに、とても はずかしかった。

④ () あとかたづけを したのに、おかあさんに ほめられた。
(○) あとかたづけを したので、おかあさんに ほめられた。

【二】 [] に、 [] の [] の どちらかを かきましよう。

(1) ゆうだちが きた のに、ぼくは へいきで あるきつづけた。

(2) 二かいから おちた ので、おおけがを してしまいました。

(3) あたたかく して ねた のに、かぜを ひいて しまった。

(4) かべに らくがきを した のに、だれにも しかられなかった。

(5) おかねを わすれた ので、ひるごはんは たべられなかった。

【三】 うまく つながる ように、つづきを かきましよう。

(1) テレビばかり 見ていたのに、しかられなかった。
テレビばかり 見ていたので、しかられた。

(2) おみやげを もらったのに、おれいをいわなかった。
おみやげを もらったので、おれいをいった。

【一】 いみが かわらない ように、一つの 文を 二つの 文に わけます。() に

あてはまる つなぎことばを から さがしましょう。

(1)

○ 雨が ふっていたが、サッカーの しあい は あった。 結果 (サッカーのしあいがあるとは思わなかったよ。)

○ 雨が ふっていた。 **けれども**、サッカーの しあい は あった。

(2)

○ あわてて かい た から、じが きた なく なった。 結果 (やっぱりきたなくなつたよ。)

○ あわてて かい た。 **だから**、じが きた なく なった。

(3)

○ はこを あけた。 **すると**、中から かえる が とびだして きた。 結果 (かえるがとび出すとは思っていたなかつたよ。)

○ はこを あけた。 中から かえる が とびだして きた。

(4)

○ ともだちの いえへ 行って、ゆうが たま まで あそんだ。 伝えたい事は、(夕方まであそんだんだ。)

○ ともだちの いえへ いった。 **そして**、ゆうが たま まで あそんだ。

すると ・ けれども ・ そして ・ だから

【二】 いみが かわらない ように、一つの 文を 二つの 文に わけましょう。

ア

○ ガラスを わつたので、おかあさんに しかられた。

○ ガラスを **わった**。 **だから**、おかあさんに しかられた。 (それで、そのため)も可

イ

○ きのは たべすぎたのに、おなかを こわさなかつた。

○ きのは **たべすぎた**。 **けれども**、おなかを こわさなかつた。 (しかし、けれど、ところが、でも...)も可

ウ

○ ふゆに なって、つめたい かげが ふきだした。

○ **ふゆに なった**。 **そして**、つめたい かげが ふきだした。

【一】 いみが かわらない ように、一つの 文を 二つの 文に わけます。() に

あてはまる つなぎことばを から さがしましょう。

(1)

○ そとは 大雨だった **ので**、いえの 中で あそんだ。

○ そとは 大雨だった **だから**、いえの 中で あそんだ。

(2)

○ ひっしで はしった **けれど**、バスに のりおくれた。

○ ひっしで はしった **けれども**、バスに のりおくれた。

(3)

○ ハワイへ いった **そして**、一日中 およいだ。

○ ハワイへ いった **そして**、一日中 およいだ。

(4)

○ いえに かえると、しんせきが あつまっていた。

○ いえに かえった **すると**、しんせきが あつまっていた。

だから ・ そして ・ すると ・ けれども

【二】 いみが かわらない ように、一つの 文を 二つの 文に わけましょう。

ア

① れいてんを とった **のに**、おかあさんは おこらなかつた。

② れいてんを とった **けれども**、おかあさんは おこらなかつた。

イ

① がんばって れんしゅうした **ので**、うまく いった。

② がんばって れんしゅうした **だから**、うまく いった。

ウ

① まどを あけると、かぶとむしが 入ってきた。

② まどを あけると、かぶとむしが 入ってきた **すると**、かぶとむしが 入ってきた。

【一】

() にことばを入れて、二つの文を、一つの文に しましょう。

(1)

○ しゆくだいを わすれた。	↓	だから、先生に しかられた。	結果
○ しゆくだいを わすれた	↓	から	やっぱりしかられたよ。

(2)

○ あには ふとっている。	↓	けれども、ぼくは やせている。	仮えたし事は
○ あには ふとっている	↓	が	ぼくは やせているんだ。

(3)

○ たんすきの けた。	↓	すると、ひみつの 出口が 見つかった。	結果
○ たんすき	↓	のけると	ひみつの出口が 見つかると思 っていたかったよ。

(4)

○ ゆうえんちに いった。	↓	そして、ジェットコースターに のった。	仮えたし事は
○ ゆうえんちに	↓	いって	ジェットコースターに のったんだよ。

(5)

○ 手を あらった。	↓	それから、あきごはんを たべた。	仮えたし事は、順序です。
○ 手を	↓	あらってから	手をあらった後にごはんを たべたよ。

【三】 つぎの二つの文を、一つの文に しましょう。

ア

① けがを した。	↓	けれども、おとうとは なかなかった。
① けがを した	↓	けれど、おとうとは なかなかった。

イ

① かたたたきを した。	↓	だから、おこづかいを もらった。
① かたたたきを したから、	↓	おこづかいを もらった。

ウ

① ドアを たいた。	↓	すると、だれかが へんじをした。
① ドアを たたくと、	↓	だれかが へんじをした。

【一】

() に ことばを 入れて、二つの 文を、一つの 文に しましょう。

(1)

○ きょうは 早おきした。	○ きょうは 早おきした。
○ きょうは 早おきした	○ きょうは 早おきした
○ きょうは 早おきした	○ きょうは 早おきした

(2)

○ ふゆに なった。	○ ふゆに なった。
○ ふゆに なった	○ ふゆに なった
○ ふゆに なった	○ ふゆに なった

(3)

○ まどを あけた。	○ まどを あけた。
○ まどを あけた	○ まどを あけた
○ まどを	○ まどを

(4)

○ テレビを 見た。	○ テレビを 見た。
○ テレビを	○ テレビを
○ テレビを	○ テレビを

(5)

○ 山に のぼった。	○ 山に のぼった。
○ 山に	○ 山に
○ 山に	○ 山に

【二】 つぎの二つの 文を、一つの 文に しましょう。

ア

① はれてきた。	① はれてきた。
① はれてきた	① はれてきた
① はれてきた	① はれてきた

イ

① お手つだいを した。	① お手つだいを した。
① お手つだいを	① お手つだいを
① お手つだいを	① お手つだいを

ウ

① はを みがいた。	① はを みがいた。
① はを	① はを
① はを	① はを

★ 文には、「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」(主語)が「あたま」「くちびる」「顔」(述語)があります。

述語は普通文の最後に来ます。そして、述語の「何」や「何は」にあたる言葉が主語です。それが、くちびる、あたま、顔、目などが多いです。

【一】 (主語) (述語) 「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」が「あたま」「くちびる」「顔」。

「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」。

(1) 花が咲きました。

花が

(2) さかなが

さかなが

「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」。

(3) うさぎは

うさぎは

(4) ぼくは

ぼくは

(5) きょうは

きょうは

(6) 犬が

犬が

(7) いなかの

いなかの

(8) わたしの

わたしの

(9) ぼくの

ぼくの

(10) 空に、

空に、

【二】 (主語) (述語) 「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」が「あたま」「くちびる」「顔」。

(1) とりが

とりが

(2) 車が

車が

(3) まんがは

まんがは

(4) くじは

くじは

(5) こおりは

こおりは

(6) さくらの

さくらの

(7) いもうとが

いもうとが

(8) ぼくの

ぼくの

(9) きょうの

きょうの

(10) ぼくの

ぼくの

【三】 (主語) (述語) 「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」が「あたま」「くちびる」「顔」。

(1) とりが

とりが

(2) 車が

車が

(3) まんがは

まんがは

(4) くじは

くじは

(5) こおりは

こおりは

(6) さくらの

さくらの

(7) いもうとが

いもうとが

(8) ぼくの

ぼくの

(9) きょうの

きょうの

(10) ぼくの

ぼくの

にじが

空に、きれいな

にじが

かかった。

おとうとは

ぼくの

おとうとは

なまむした。

くつは

わたしの

くつは

赤いです。

ねずみが

いなかの

ねずみが

やってきました。

犬が

大きな

犬が

ねています。

きょうは

一年生です。

ぼくは

ぼくは

うさぎは

「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」。

うさぎは

かわいい。

さかなが

「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」。

さかなが

さかなが

花が

「なにか」「や」「なにか」「に」「あたま」「くちびる」「顔」。

花が

咲きました。

やってきました

ぼくの

町に、

サーカスが

やってきました。

きれいだ

きょうの

夕日

が

きれいだ。

中学生です

ぼくの

あねが

中学生です。

よんでいます

いもうとが

本を

よんでいます。

さいた

さくらの

花が

さいた。

つめたい

こおりは

つめたい。

つめたい

おもしろい

まんがは

おもしろい。

おもしろい

とまりました

車が

とまりました。

とまりました

とぶ

とりが

とぶ。

とぶ

は、述語です。

は、主語です。

★ 文には、「なにが」「なにが」「や」「なには」「にあたることば(主語)」と、「だ」「で」「なだ」「なんだ」「にあたることば(述語)」が、あっています。

【一】 ^{主語}「なにが」「なにが」「なにが」() をさがして
「に」か「が」をつけて。

(1) **とりが** とんでいる。

[**とりが**]

(2) **あんのび** した。

[**さくらが**]

(3) **ぞうは** 大きい。

[**ぞうは**]

(4) **わたしは** 小学生です。

[**わたしは**]

(5) **きょうは** あたたかい。

[**きょうは**]

(6) **赤い花が** さいています。

[**花が**]

(7) **となりのおじさんが** おいっています。

[**おじさんが**]

(8) **ぼくのぼくが** 読んでいます。

[**ぼうしは**]

(9) **わたしの** **いもうとは** かわいい。

[**いもうとは**]

(10) **やねに、へんな** **とりが** とまった。

[**とりが**]

は、述語です。

【二】 ^{主語}「だ」「語」() をさがして
「に」か「が」をつけて。

(1) **犬が** **ほえる**。

[**ほえる**]

(2) **ひこうきが** **とぶ**。

[**とぶ**]

(3) **あそびは** **たのしい**。

[**たのしい**]

(4) **トマトは** **やさいだ**。

[**やさいだ**]

(5) **なつは** **あつい**。

[**あつい**]

(6) **大きな** **さかなが** **およいでいる**。

[**およいでいる**]

(7) **おねえさんが** **べんきまを** **しています**。

[**しています**]

(8) **ぼくの** **おやじ** **は** **先生** **です**。

[**先生です**]

(9) **きょうの** **天気** **は** **すこ** **へんだ**。

[**へんだ**]

(10) **ぼくの** **いえに、** **ねこが** **入ってきた**。

[**入ってきた**]

は、主語です。

【一】 [] に 主 語 () な が 主 語 は 「 () を

れい) かんがえて かき入れましゅう。

(1) とり が どんでいませう。

(2) 車 が ほしっている。

(3) おとうとは おあじを たべている。

(4) ぞう は 大きい。

(5) タヤけ が とても きれいです。

(6) 犬 は どうぶつです。

(7) ぼく は もうすぐへ 二年生だ。

【二】 [] に あてはまる 述 語 を、かんがえて

かき入れましゅう。 (れい) 「なく」の音にならず、 「なく」の字ははずす。

(1) 赤ちゃんを なく

(2) かわいい 小鳥が やえないです。

(3) おおむすびんは 大きい

(4) ぼくの おおあじさんは やさしい

(5) さんまは やさかなだ

(6) あの たてものは 学校だ

【二】 主 語 と 述 語 を さがして [] に かき入れ

しゅう。

(1) ねこが ニャーンと ないた

(2) ライオンが にくを たべている。

(3) はなの 花は きれいだ。

(4) りんごは くだものの なかまです。

(5) ゆきどけの 水は、とても つめたい。

(6) 川の 水が、 ながれている。

(7) とりりの おじさんは、 中学校の 先生です。

(8) タがたに 見る もみじは すばらしい。

(9) 大きな ひらべったい さかなが つれた。

【一】 に **主語** (**なにが**) 「 **なには** 」 (**を**)
 かんがえて かき入れましょう。

(1) さかなが **おみじでい**可。

(2) 赤ちゃんが **ねむって**い可。

(3) あに **は** 本を **みんで**い可。

(4) **あり** **は** **小さい**。

(5) **夕やけ** **が** **とても** **つつく**し。

(6) **りんご** **は** **くだもの**です。

(7) **わたし** **は** **せむし** **が** **お** **な** **です**。

【二】 に **あてはまる** **述語**を、かんがえて かき入れましょう。

(1) **にいさん** **が** **おこ**る。

(2) **大きな** **かえる** **が** **は** **ね**る。

(3) **つみ** **は** **ひろ**い **(大きい)** **。**

(4) **ぼく** **の** **ねえ** **さん** **は** **ヤ** **キ** **し** **い** **。**

(5) **にん** **じん** **は** **ヤ** **キ** **い** **だ** **。**

(6) **あ** **の** **山** **が** **ふ** **じ** **い** **だ** **。**

【二】 **主語**と **述語**をさがして に かき入れ ましょう。

(1) **うま** **が** **ピ** **ア** **ノ** **と** **な** **い** **た** **。**

うま **が** **な** **い** **た** **。**

(2) **おと** **う** **と** **が** **ジ** **ユ** **ー** **ス** **を** **の** **み** **ま** **し** **た** **。**

おと **う** **と** **が** **の** **み** **ま** **し** **た** **。**

(3) **も** **み** **じ** **の** **は** **は** **っ** **ぱ** **は** **赤** **だ** **。**

は **っ** **ぱ** **は** **ま** **っ** **赤** **だ** **。**

(4) **ピ** **ア** **ノ** **は** **が** **つ** **き** **の** **な** **が** **赤** **だ** **。**

ピ **ア** **ノ** **は** **な** **が** **ま** **で** **す** **。**

(5) **山** **の** **ち** **ょう** **う** **上** **は** **す** **こ** **し** **さ** **む** **か** **つ** **た** **。**

ち **ょう** **う** **上** **は** **さ** **む** **か** **つ** **た** **。**

(6) **お** **て** **ら** **の** **か** **ね** **が** **ユ** **ー** **ン** **と** **な** **つ** **た** **。**

か **ね** **が** **な** **つ** **た** **。**

(7) **わた** **し** **の** **あ** **に** **は** **や** **ま** **き** **ゆ** **う** **の** **せ** **ん** **し** **ゆ** **で** **す** **。**

あ **に** **は** **せ** **ん** **し** **ゆ** **で** **す** **。**

(8) **な** **む** **こ** **の** **な** **は** **め** **ず** **ら** **し** **い** **。**

な **む** **こ** **の** **な** **は** **め** **ず** **ら** **し** **い** **。**

(9) **す** **く** **の** **か** **わ** **ら** **ら** **ず** **な** **つ** **ま** **れ** **た** **。**

子 **ど** **も** **が** **う** **ま** **れ** **た** **。**

かんがえかた

★ は、文の **述語**です。述語の、
 (だれは) (だれが) (なにが) 「なにが」にあたることばを
 きがしめましょう。

【一】主語をきがして □ で かぎめましょう。

(1) うぐいすが きれいな こえで ながじている。
 なにか 何かがなっていますか？ どうする

(2) 川の 水が さらすらすと ながれている。
 なにか どうする

(3) あたたかい はるの かげが ぶく。
 なにか どうする

(4) さくらの 花は とても きれいだ。
 なにか どうなだ

(5) わたしの 学校の クラントは せまいです。
 なにか どうなだ

(6) ぼくの ふうたは 一年また。
 だれは どうなだ

(7) きいらい 大きな 花は ひまわりです。
 なにか どうなだ

(8) まっ赤な たいようが、うみの 上に のぼった。
 どうした

(9) わたしは かわいらしいおひまりの え本を
 (何をも) あげました。
 だれは どうする

(10) バスは おおきなおみせの おまわりを
 (何をも) はじめまわりました。

【二】主語と述語を きがして □ に かき入れ

「何をしていますか？」

(1) めだかが およいでいる。
 なにか どうする

(2) ゴリラは どうぶつです。
 なにか どうする

(3) きみの うみは しずかだ。
 なにか どうなだ

(4) きれいな うたごえが とおくから きこえる。
 なにか どうする

(5) 井の田 ぼくは かいています。
 だれは (何をも) どうする

(6) あのとakai 山が ぶじ山です。
 なにか どうなだ

(7) とつせいたいのめが ねずみが はした。
 なにか どうした

(8) 花が 咲きます。

花が

咲きます

めだかが

およいでいる

ゴリラは

どうぶつです

うみは

しずかだ

うたごえが

きこえる

ぼくは

かいています

山が

ぶじ山です

ねずみが

はした

【一】主語をさがして □ で かこみましよう。

かんがえかた

★ は、文の 述語です。述語の、

「たれは」「だれが」
「なには」「なにが」にあたることばを
さがしましよう。

- (1) 白い **くも**が、ほつかり **うかん**でいる。
- (2) **とら**が 大きな **こえ**で **ほ**えてい**る**。
- (3) **きれ**いな **かわ**い**い** **とり**が **な**く。
- (4) **ぼく**の **にい**さん**は**、**す**ごく **か**もち**です**。
- (5) **と**なりの **み**の**る**は、**ら**い年 **小**学**生**だ。
- (6) **む**じょうに **見**える **川**は、**か**も**川**で**す**。
- (7) **赤**い **ふ**く**の** **子**ども**が**、**い**ちじ**つ**で**す**。
- (8) **ま**つ**白**い **う**ま**が**、**草**げ**ん**を**ま**き**ま**ひ**な**は**な**き**ん**に**い**る**は** **は**し**っ**て**い**る**。**
- (9) **ボ**ン**プ**車**は**、**火**じ**を** **け**す **と**き**に** **つ**か**ら**う**。**
- (10) **か**に**に** **さ**の**は**、**青**く**て** **か**た**い** **か**き**の** **み**を、**な**げ**つ**け**た**。

【二】主語と 述語を さがして、 □ に かき入れ ましよう。

- (1) **赤**ちゃん**が** **す**ず**す**ず**と** **ね**む**っ**て**い**る**。**
- (2) **ラ**ッ**シ**ー**は** **と**と**も** **り**ご**う**な **犬**で**す**。
- (3) **お**と**う**さ**ん**の **車**は、**す**ご**く** **す**て**き**だ**。**
- (4) **大**きな **も**も**が**、**川**上**か**ら **な**が**れ**て**き**た**。**
- (5) **わ**た**し**は **ま**い**ろ** **学**校**を** **休**ん**だ**。
- (6) **あ**の **く**ま**い** **お**ね**こ**が **ミ**ー**コ**で**す**。
- (7) **と**つ**げ**ん、**目**の **ま**え**に** **て**き**が** **あ**ら**わ**れ**た**。
- (8) **お**ほ**し**さ**み**が **な**る**に** **な**る**と**、**い**ろ**い**ろ**な** **い**ろ**の** **お**ほ**し**さ**み**が **か**が**や**き**ま**す**。**

【一】 単語をくわしくする。「ら」でおわる
 「この花がきれいな」
「きれいな」をくわしくする。

(1) 赤い
 花がさきました。

(2) かわいい
 犬がはじってきた。

(3) 青い
 ふっせんがとんでいった。

(4) 大きい
 かはんはぼくのです。

【二】 単語をくわしくする。「な」でおわる
 「この鳥が大きい」
「大きい」をくわしくする。

(1) 小さな
 とりがとんできました。

(2) 大きな
 くもがうかたでいきました。

(3) きれいな
 バスがはじついでいきました。

(4) きよ大な
 ヒルがたつた。

【三】 単語をくわしくする。「の」でおわる
 「この花がきれいな」
「きれいな」をくわしくする。

(1) きれいな
 花がきれいだ。

(2) きれいな
 入道がきれいだ。

(3) ねこの
 子どもがなつていきました。

(4) ぼくの
 おんがは三つあります。

【四】 単語をくわしくする。「の」でおわる
 「この犬がワンワン」
「ワンワン」をくわしくする。

(1) 犬がワンワン
 ほえました。

(2) かぜがビュービュー
 ぶいてきた。

(3) そうはのっしのっし
 あるところへ。

(4) わたしはひっしで
 はじつた。

【五】 単語をくわしくする。「ら」でおわる
 「この人がたくさん」
「たくさん」をくわしくする。

(1) しゅくだいがたくさん
 出た。

(2) おひはすうく
 味つていきました。

(3) きょうはすこし
 おむいね。

(4) おごめがいっぱい
 とれました。

【六】 単語をくわしくする。「ら」でおわる
 「このおじさんがおじさん」
「おじさん」をくわしくする。

(1) おじさんがおじさん
 おきました。

(2) おじさんはきのう
 がえりました。

(3) ライオンがにくを
 たべている。

(4) ふうせんはようちえんに
 いきました。

【一】 主語をくわしくする。「ら」を
 (れい) 白い ことがとんでいる。

(2) しかくい ほこがで書きました。

(3) かわいひ こねがなつている。

(4) 赤い ほっしはわたしのです。

【二】 主語をくわしくする。「が」を
 (れい) きれいな 花がさいた。

(1) きれいな 花がさいた。

(2) 小さな えがほえている。

(3) へんな ドアがしらべらる。

(4) 大きな カエルがとびつた。

【三】 主語をくわしくする。「の」を
 (れい) うめの 花がちりまいた。

(1) うめの 花がちりまいた。

(2) マンガの 本はあそびごころ。

(3) となりの 子どもはあそんでいる。

(4) わたしの おはなはあそびごころ。

【四】 述語をくわしくする。「の」を
 (れい) う味が エビంత なまきました。

(1) う味が エビంత なまきました。

(2) 水が くらくら ながれている。

(3) ひまが よちよち あるいている。

(4) 草が むちゅうで およいた。

【五】 述語をくわしくする。「に」を
 (れい) 草が いっぱい はえました。

(1) 草が いっぱい はえました。

(2) からい すごく からいです。

(3) のほ すこし あたかかった。

(4) しゅんたつ ほとんど できました。

【六】 述語をくわしくする。「を」を
 (れい) わたしは キのう かえりました。

(1) わたしは キのう かえりました。

(2) にいさんは 十じに 書きました。

(3) きんぎょが えさを たべた。

(4) かいしゃに かいしゃを 書きました。

【1】 かみ剪りました。

(か) かわいい
かみ剪りました。

かわい

ことりが

ならこい。

(こ)

(こ)

(1) さくらの花がさいた。

さくらの

花が

さいた。

(こ)

(こ)

(2) 青いとりがとんでいく。

青い

とりが

とんでいく。

(こ)

(こ)

(3) 大きなかぶはぬけました。

大きな

かぶは

ぬけました。

(こ)

(こ)

(4) もみじのはっぱが赤い。

もみじの

はっぱが

まっ赤だ。

(こ)

(こ)

(5) 白いたてものは学校です。

白い

たてものは

学校です。

(こ)

(こ)

【2】 雨がザーザーふっている。

(あ) 雨が
ザーザー
ふっている。

雨

雨が

ふっている。

(こ)

(こ)

(1) さかながぴよんとはねた。

さかなが

はねた。

(こ)

(こ)

(2) カエルがゲロゲロなっている。

カエルが

なっている。

(こ)

(こ)

(3) けい子さんは四じにききます。

けい子さんは

四じに

ききます。

(こ)

(こ)

(4) けんじがボールをけった。

けんじが

ボールを

けった。

(こ)

(こ)

(5) おかあさんはかimotoにきました。

おかあさんは

かimotoに

きました。

(こ)

(こ)

【 一 】 (お) (が) な が め の ま の ま の 文 を 文 中 に か ね づ け ち せ け ば い い だ

(ね) (が) **大きな** **本**が **ずか**んで **す**かんで **す**。

大きな **本**は **ずか**んで **す**。

(ね) (が) **ゆりの** **花**は **きれ**いで **す**。

ゆりの **花**は **きれ**いで **す**。

(ね) (が) **へんな** **虫**が **い**って **き**た。

へんな **虫**が **い**って **き**た。

(ね) (が) **赤い** **ふうせん**が **と**んで **い**った。

赤い **ふうせん**が **と**んで **い**った。

(ね) (が) **となりの** **子ども**が **い**なくて **い**る。

となりの **子ども**が **い**なくて **い**る。

(ね) (が) **大きな** **犬**が **ね**て **い**る。

大きな **犬**が **ね**て **い**る。

【 二 】 (お) (が) な が め の ま の ま の 文 を 文 中 に か ね づ け ち せ け ば い い だ

(ね) (が) **おじさん**は **アメリ**カに **す**んで **い**ます。

おじさんは **アメリ**カに **す**んで **い**ます。

(ね) (が) **いもうと**が **え**本を **よ**んで **い**る。

いもうとが **え**本を **よ**んで **い**る。

(ね) (が) **のりおくん**は **あ**した **か**えり **ま**す。

のりおくんは **あ**した **か**えり **ま**す。

(ね) (が) **ぼく**は **あ**わてへ **か**えり **ま**した。

ぼくは **あ**わてへ **か**えり **ま**した。

(ね) (が) **けむり**が **も**く **も**く **出**て **い**る。

けむりが **も**く **も**く **出**て **い**る。

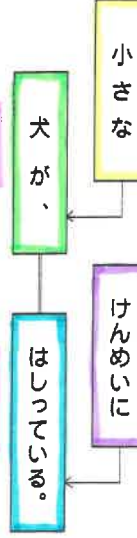
(ね) (が) **犬**が **フ**ン **フ**ン **ほ**えて **い**る。

犬が **フ**ン **フ**ン **ほ**えて **い**る。

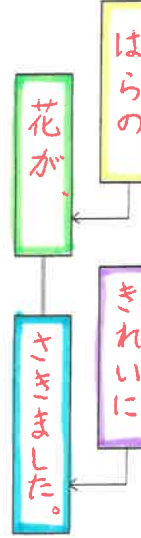
【一】 【一】が) の意味を文章に

か意味しよう。

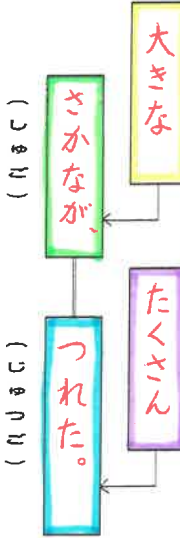
(1) どんなに なにが どのようか どうする
小さな **犬が、** **けんめい**に **はし**つてい



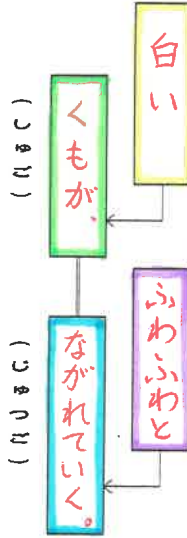
(2) どんなに きれい
ばらの **花が、** **きれい**に **さ**ま



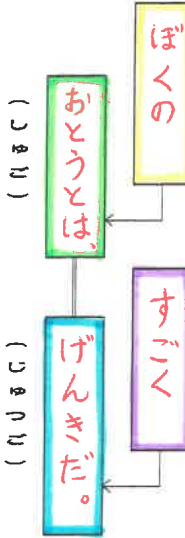
(3) どんなに たくさん
大きな **さかな**が、 **たく**さん **つ**れた



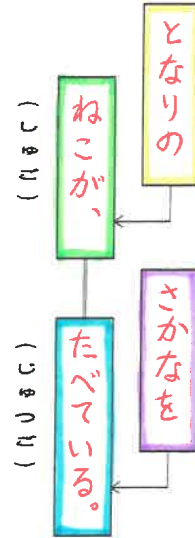
(4) どんなに なが
白い **くも**が、 **ふわ**ふわと **なが**れてい



(5) どんなに すく
ぼくの **おとう**とは、 **すく**く **げん**きた



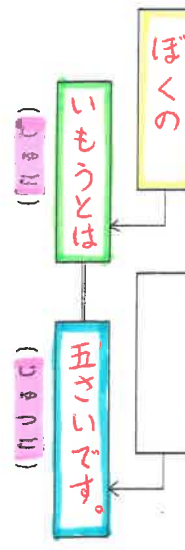
(6) どんなに た
となりの **ねこ**が、 **た**べてい



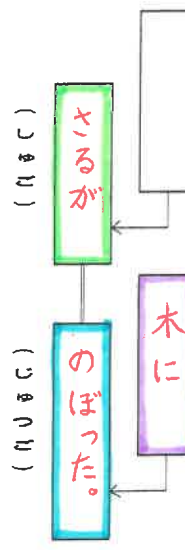
【二】 の意味を文章に

か意味しよう。

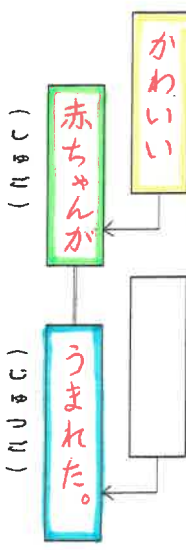
(1) どんなに なん
ぼくの **いもう**とは **五**さい



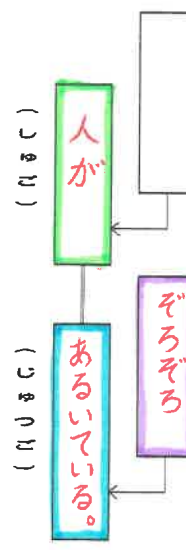
(2) どんなに の
さるが **木**に **の**ぼ



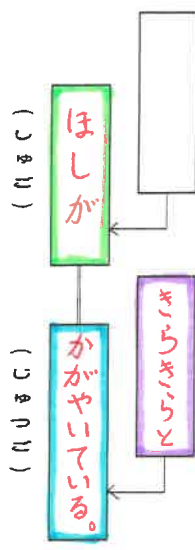
(3) どんなに う
かわいい **赤ちゃん**が **う**ま



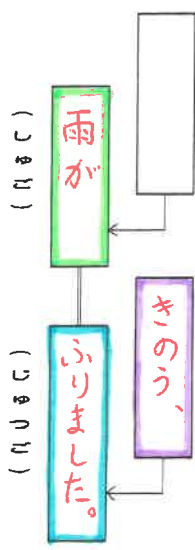
(4) どんなに あ
人が **ぞろ**ぞろ **あ**る



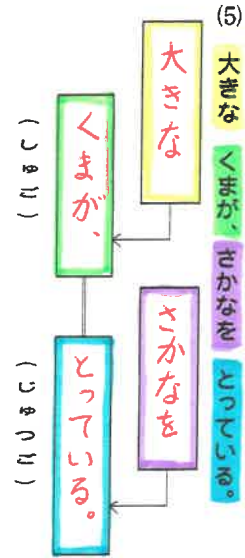
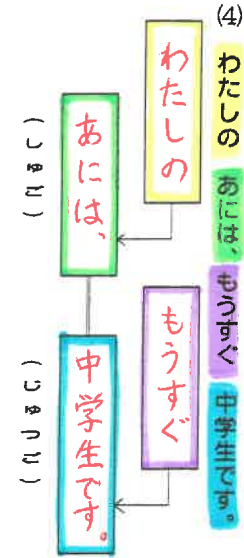
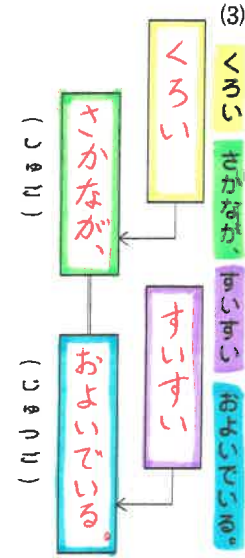
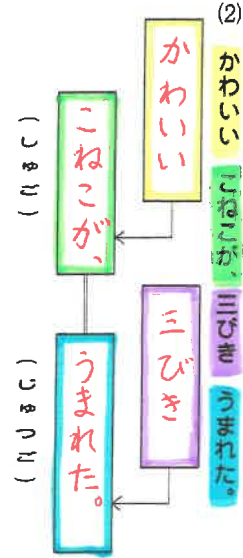
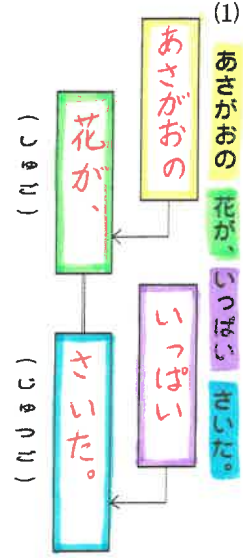
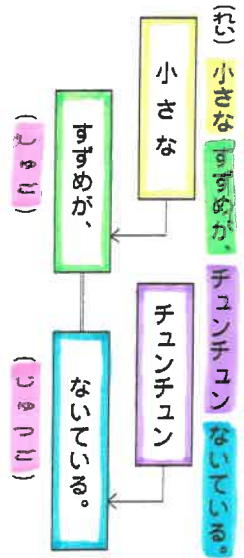
(5) どんなに あ
星が **かが**やいて



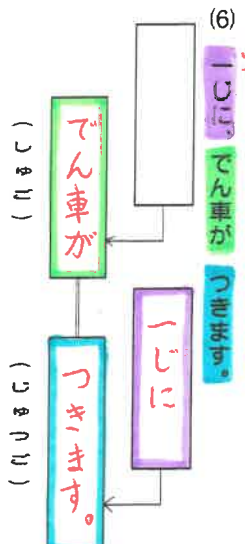
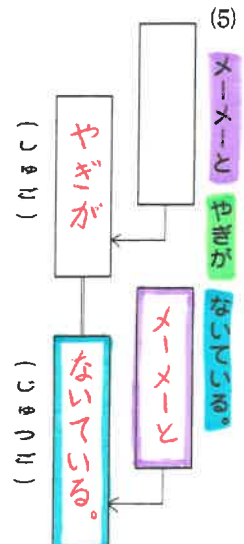
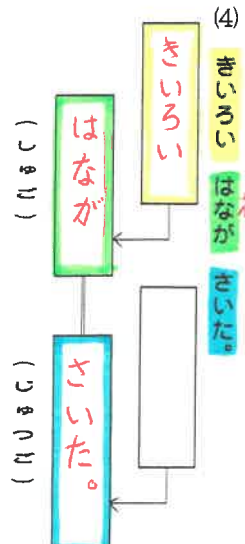
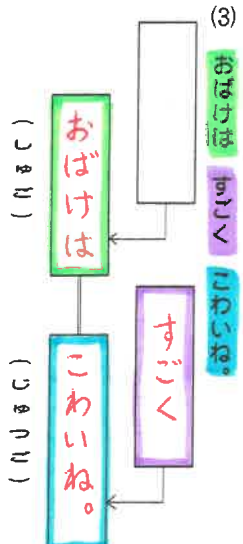
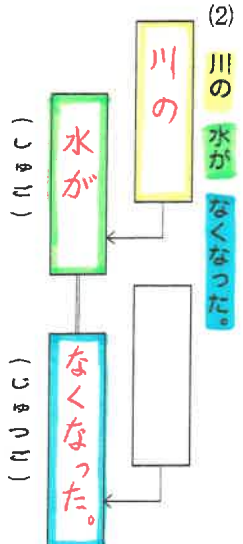
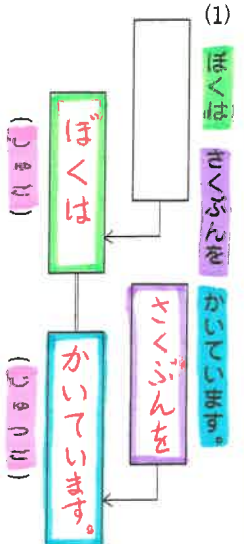
(6) どんなに ふ
きのう、 **雨**が **ふ**り



【一】
かみ切りました。
小さい。
可愛いです。

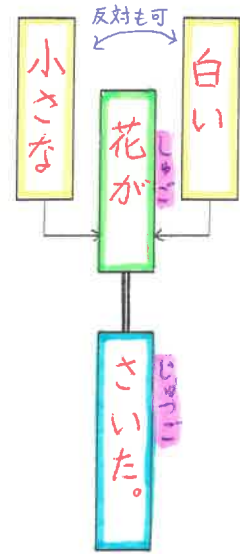


【二】
ただし、
かみ切りました。
かみ切りました。

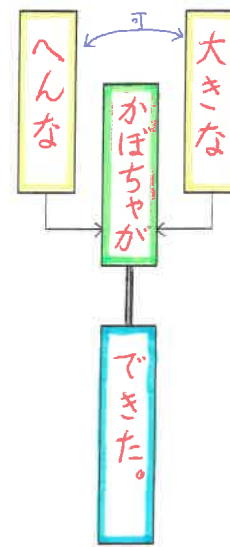


【 二 】 つぎの 文を、文すじに かまみしよう。

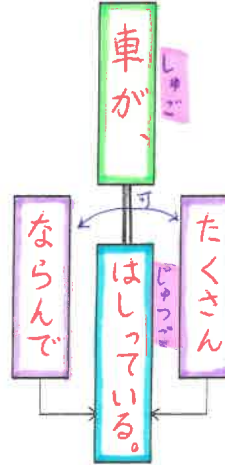
- (1) 白い どんな 花が なにか さいた。 どうした
- 小さい どんな 花が なにか さいた。



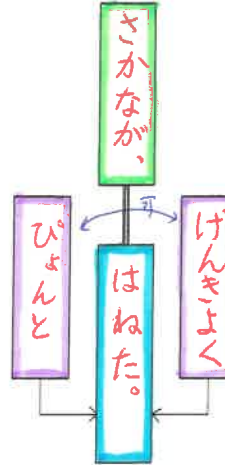
- (2) 大きな へんな かぼちゃが できた



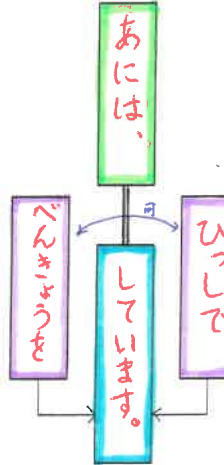
- (3) 車が た たくさん は している。



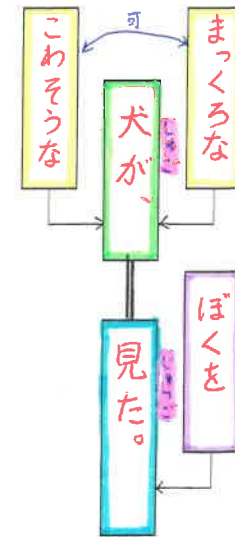
- (4) さかなが げんきよく ぴよんと は ねた。



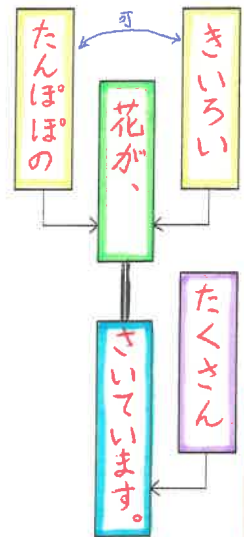
- (5) あには ひっしで ぶんぎょうを して います。



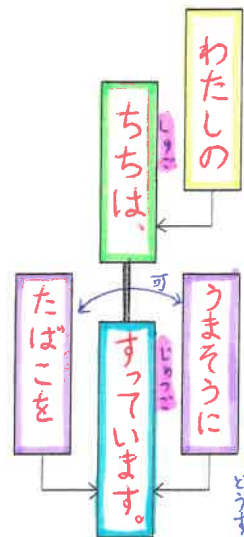
- (6) まっくろな こわそうな 犬が ぼくを 見た。



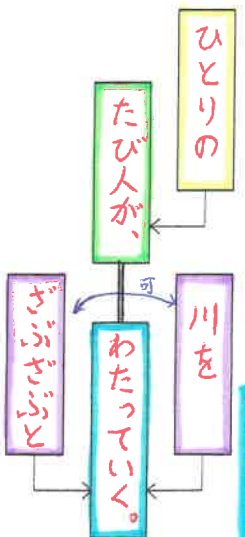
- (7) きいろい たんぼほの 花が たくさん さいています。



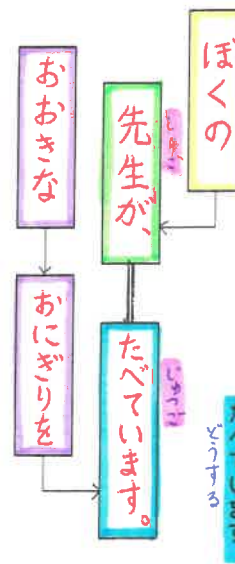
- (8) わたしの ちちは うまそうに す っています。



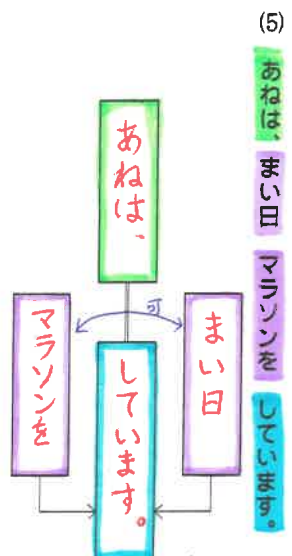
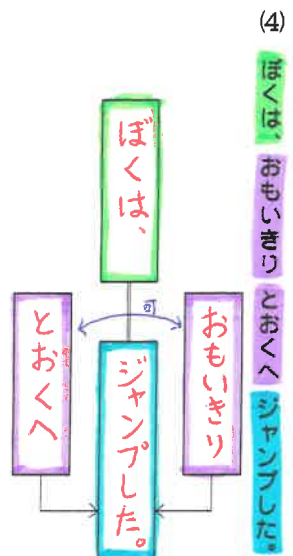
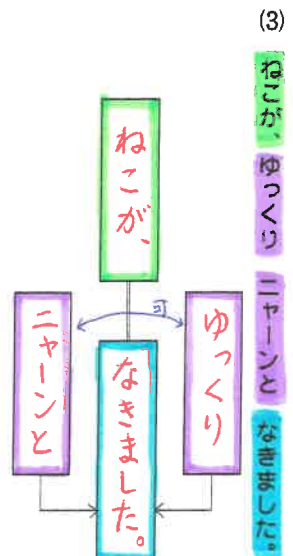
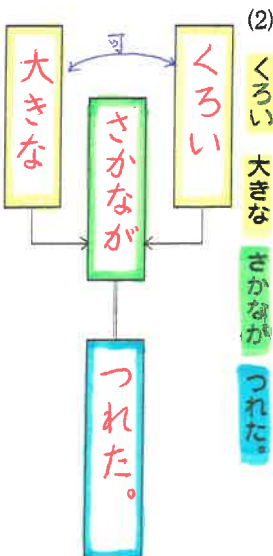
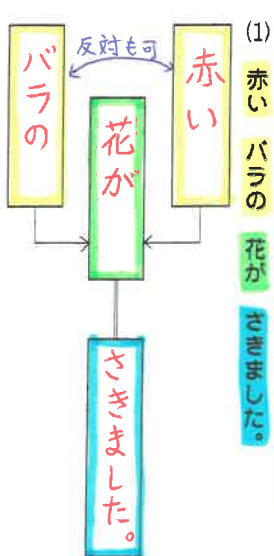
- (9) ひとりの たび人が 川を わた っていく。



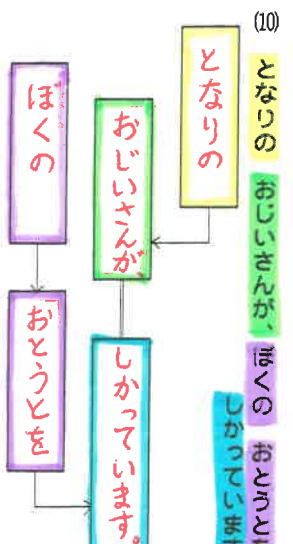
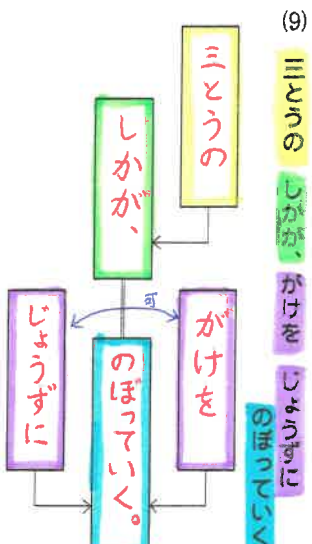
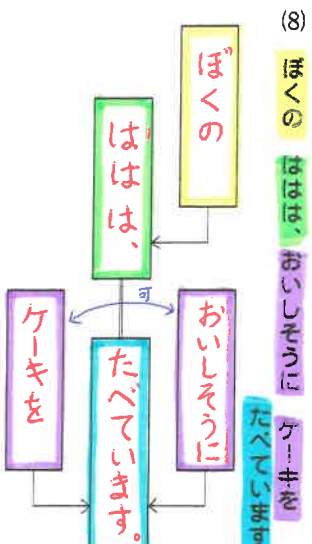
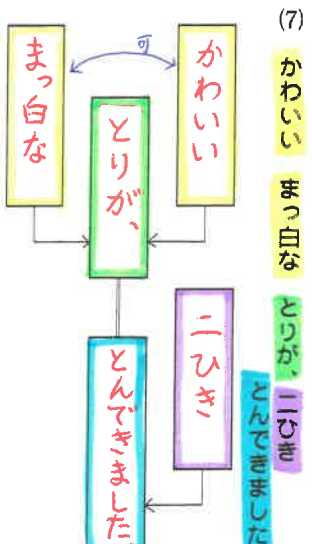
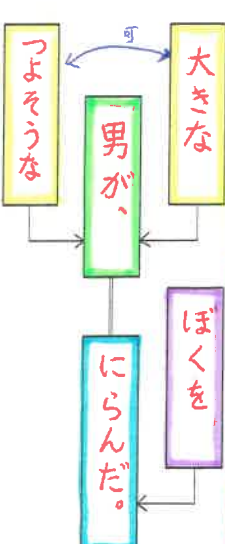
- (10) ぼくの 先生が おおきな おにぎり を た べています。



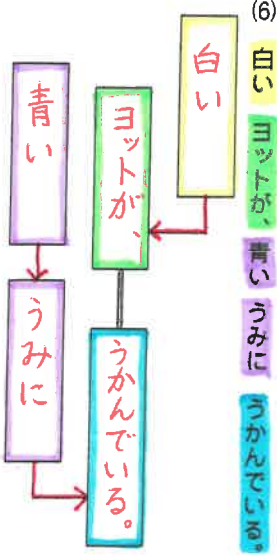
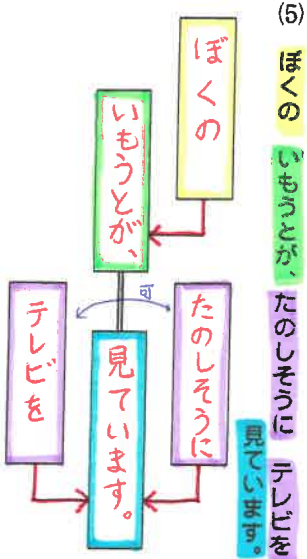
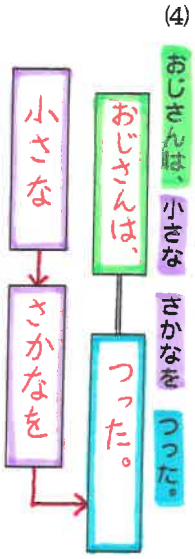
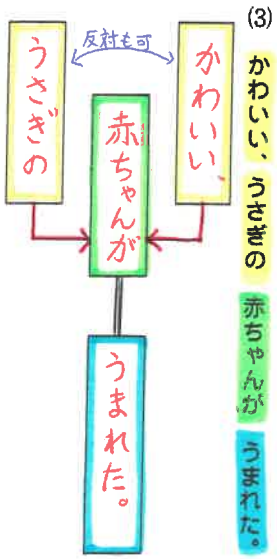
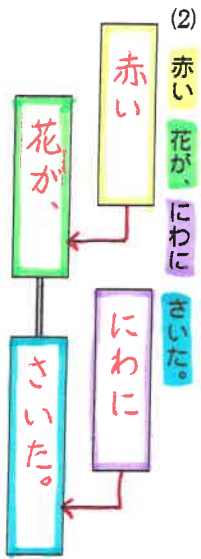
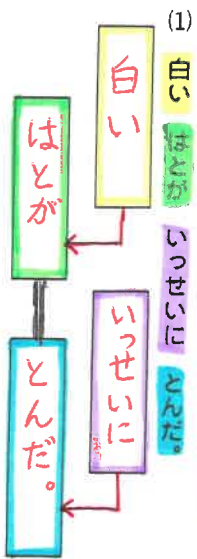
【 二 】 つぎの 文 を、 文 ず に か き ま し ゃ う。



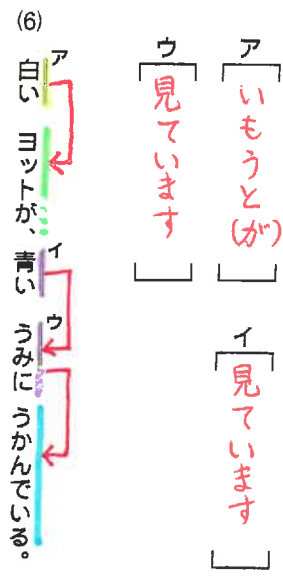
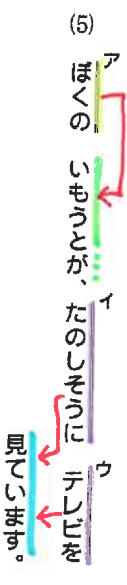
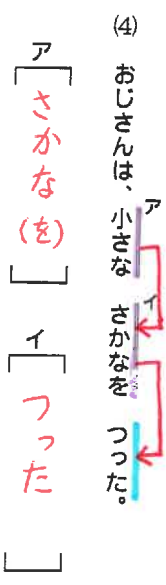
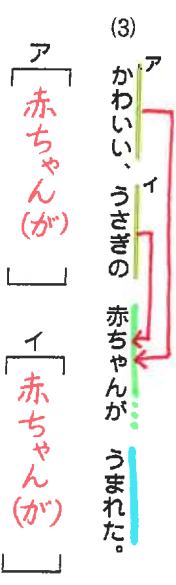
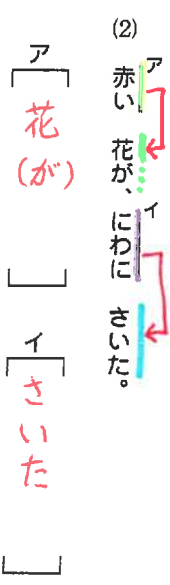
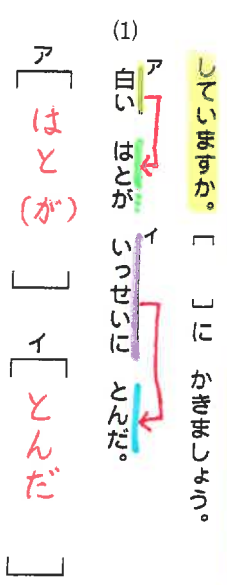
(6) 大きい つよ そう な 男が、 ぼくを にら んだ。



【 一 】 の 味 の 文 字 文 句 の 骨 組 み を 考 へ て 書 け

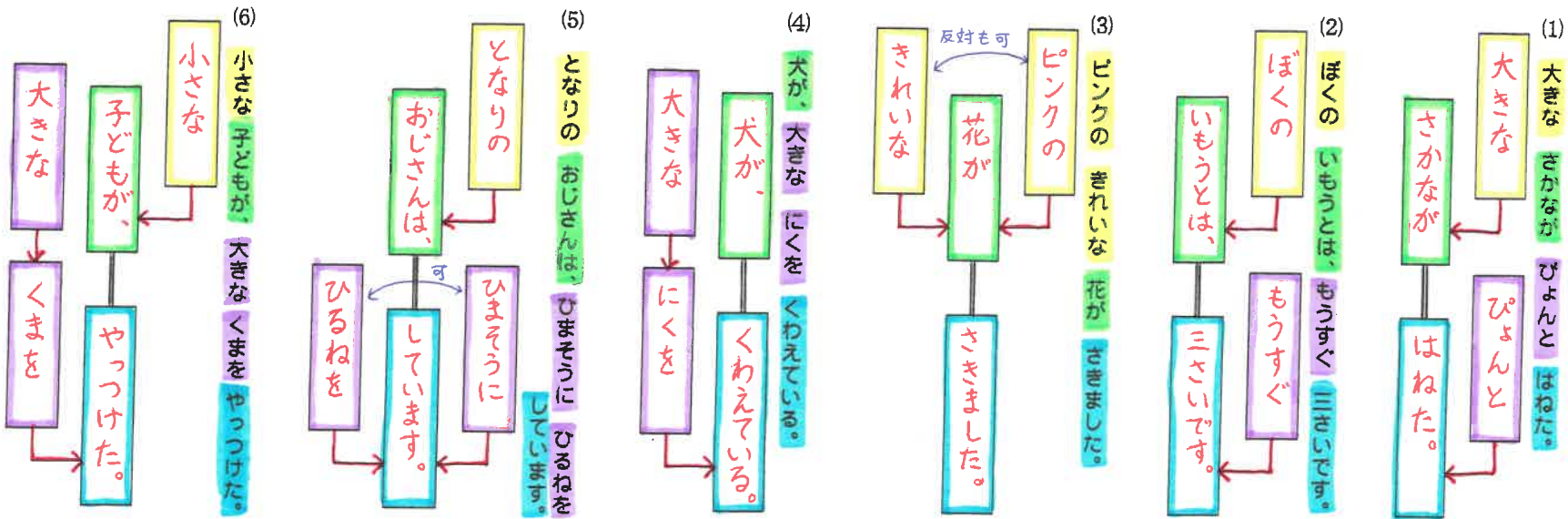


【 二 】 の 骨 組 み を 考 へ て 書 け

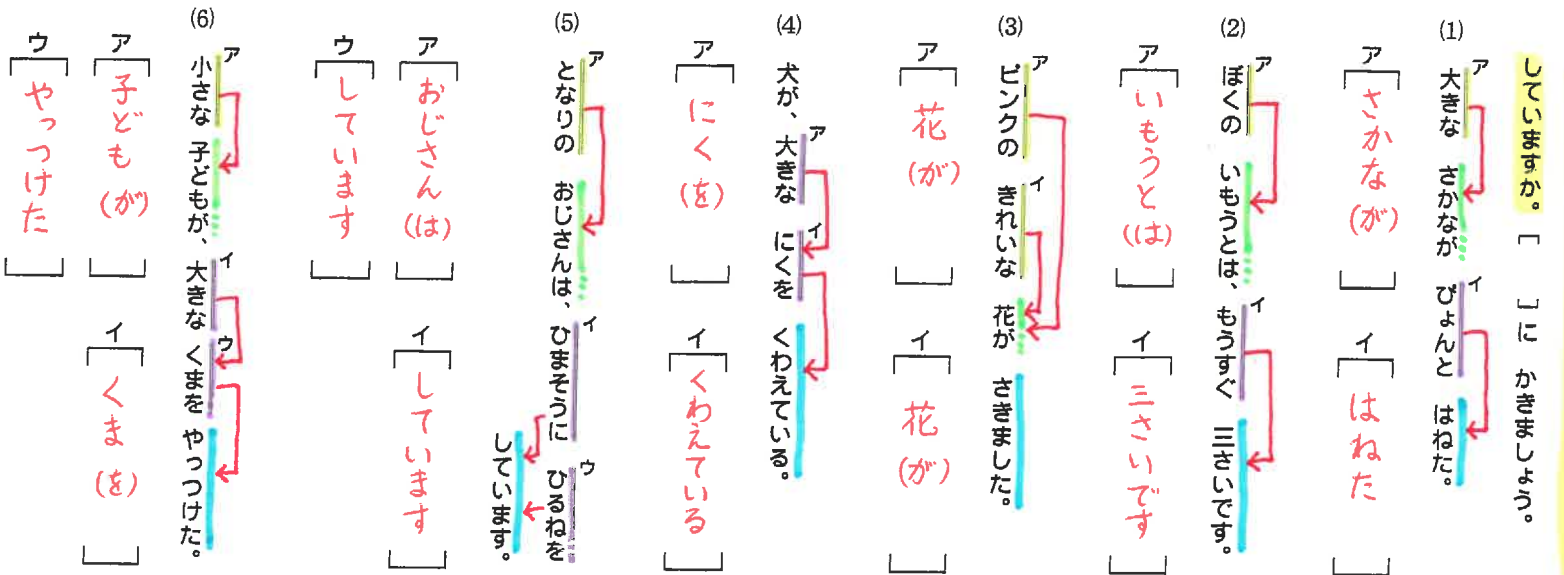


★ どの ことば を、くわしく しているのかを かんがえ、上 の 骨 組 み を 考 へ て 書 け。

【 一 】 の 味 の 文 字 文 可 か 味 味 し ち う 。

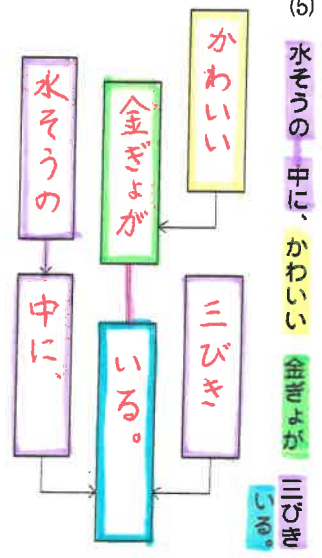
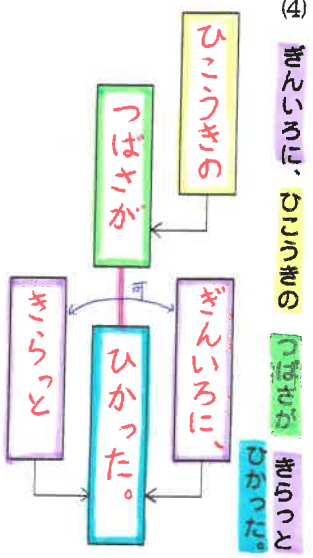
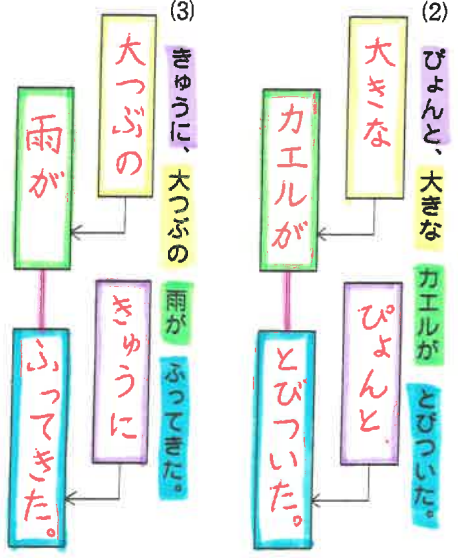
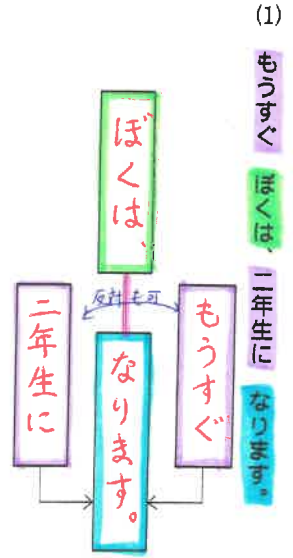


【 二 】 の 味 の 文 字 文 可 か 味 味 し ち う 。



★ どのことばを、くわしくしてあるのかを
かんがえるとき、上の ような 文可を
かいてみると、はっきりし味。

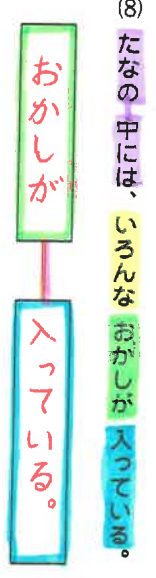
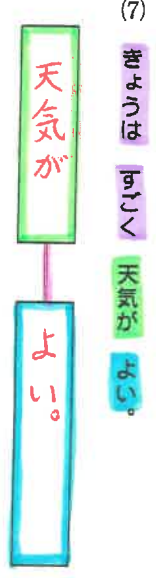
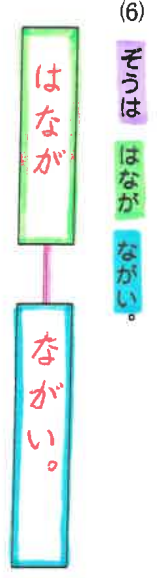
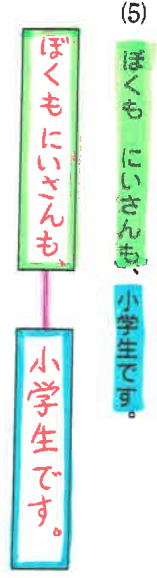
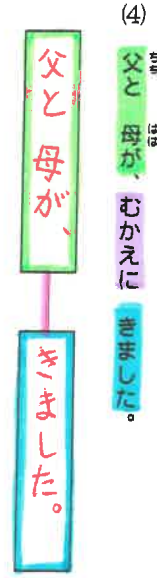
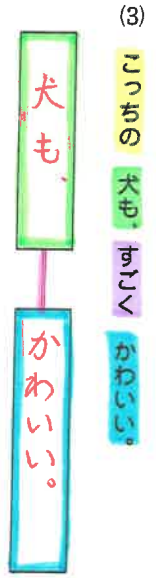
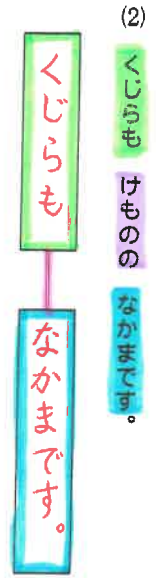
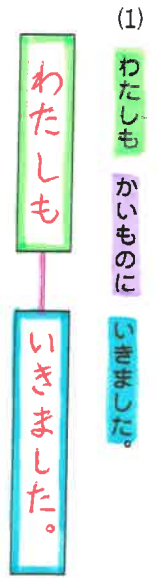
【1】 「どこかの」の「ながりに」を「つけい」
の「文」を「文」に「かきあせよう」。



★ 述語(主語)の骨組み(文図)を完成させる。

の → 水そうの
かわい → かわい
へまぎよが → へまぎよが
ニびきに → ニびきに
に → に

【2】 主語と述語をさがして、□に「かき入れ」
せよう。

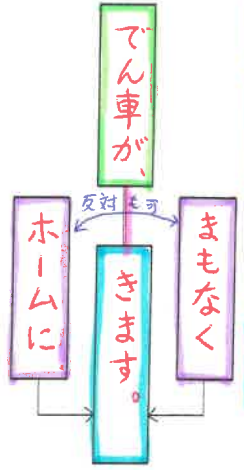


★ 述語の「何」が「に」あたる「は」は、骨組みを完成させる。

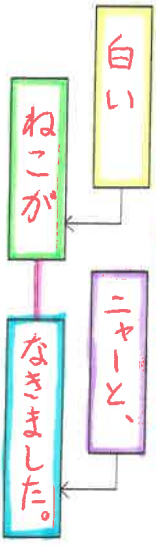
中 → 中
には → には、
おかし → おかし
入っ → 入っ

【1】 どの文の骨組をききつけて、
しゅごの文を、文すにかきましよう。

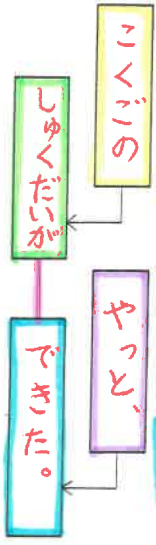
(1) 何もなく、でん車が、ホームに、きます。



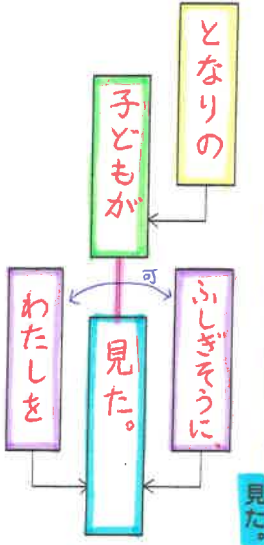
(2) ニヤート、白い、ねこが、なきました。



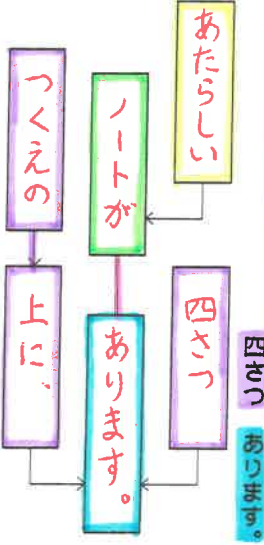
(3) やつと、しゅくだいが、できた。



(4) ふしぎな子どもの、わたしが、見た。



(5) じゅんの上、あたらしい、ノートが、あります。



★ 述語の主語と修飾語 (主語は必ずしも述語の主語とは限りません)。
の、じゅんに、上、に、つ、く、え、の、上、に、あ、た、ら、し、い、ノ、ー、ト、が、あ、り、あ、る、す。

【2】 主語の述語をさがして、□にかき入れ
ましよう。

(1) 母も、さかなつりに、いきました。



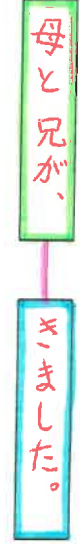
(2) スンペンも、のびのびと、なきました。



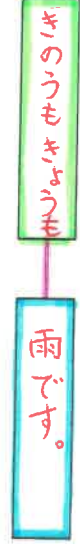
(3) おかしも、おいしい。



(4) 母と兄が、学校に、きました。



(5) きりつも、きょうも、雨です。



(6) きりんは、くびが、ながい。



(7) こわには、きれいな、花が、さいています。



(8) 母の、中、に、おかしも、くすりが入っています。



★ 述語の「何が」にあたることをさがし
ましよう。